



## 朝の食卓（インド編）

近年、インド・ASEANへの注目度が高まっています。インド・ASEANは、計11カ国、約18億人。宗教や文化は多岐に渡ります。知財制度も日進月歩で変化しています。知財制度を理解するためには、そこで暮らす人々の価値観を知ることも重要です。本コラムでは、インド・ASEAN各国の人々の価値観を知る上で有用なトピックをリレー形式で紹介します。

### 1. はじめに

インドには、長い歴史があります。ムガル人やイギリス人による統治も経験しました。その間、インドは、外来文化の影響を受つつも、独自の文化を守ってきました。「多様性の中の統一（Unity in Diversity）」と称される現在のインド文化は、このような背景を経て形成されたものです。インドは広大です。地域によって食文化も異なります。今回は、インドを東西南北に分けて、各地域の朝食を紹介します。



### 2. 各地域の朝食

#### 2.1. 北インド

北インドは、首都ニューデリーを中心とする地域。北部をヒマラヤ山脈に囲まれ、海には面していません。そんな北インドの一日はパンで始まります。「パン」といっても、日本でお馴染みの「ナン」ではなく、「パラタ」

という平らなパン。パラタの作り方は、いたってシンプルです。全粒小麦の生地に「ギー」というバターオイルを何層も重ねて、フライパンの上で焼くだけ。ポテトパラタ、大根パラタ、チーズパラタ等、様々なバリエーションがあります。チャツネ<sup>1</sup>、ピクルス、ヨーグルト、カレー等をお好みのパラタで春巻のように巻いて食べるスタイルが一般的です。



パラタ

#### 2.2. 南インド

南インドは、ベンガル湾の港町チェンナイを中心とする地域。南インドでは、ご飯派とパン派に別れます。ご飯派の人は、白米かウプマ<sup>2</sup>。パン派の人は、イドリー<sup>3</sup>、ワダ<sup>4</sup>、ドーサ<sup>5</sup>。これらのパンには、ヨーグルト、マサラ<sup>6</sup>等、様々な具材を混ぜたものがあります。ご飯派とパン派に共通するのは、「サンバル」という野菜シチューが好物であること。好みのご飯やパンをサンバルと一緒に食べるのが南インドのスタイルです。



サンバル

### 2.3. 東インド

東インドは、インド特許庁の本庁が置かれたコルカタを中心とする地域。東インドでは、「ルティ」というフワフワのパンが人気です。このルティを、「ダール」<sup>7</sup>というカレーに浸して食べるのが一般的なスタイル。また、東インドの人は、ポテトが大好き。シンプルな塩味のポテトを、ご飯のお供にする人も。



ルティとダール

### 2.4. 西インド



カンドビ

西インドは、アラビア海に面した商業都市ムンバイを中心とする地域。西インドの朝食の顔は、「ドクラ」<sup>8</sup>という蒸しパン。このドクラを、チリソース、コリアンダのチャツネ、粉状のココナッツ等と一緒に食べます。

また、西インドの朝食で外せないのが「カンドビ」。カンドビは、ひよこ豆入りのヨーグルトを冷やして、細長く切った後にクルクルと巻いたもの。独特の食感が特徴です。

### 3. むすび

日本人にとっては「カレー」のイメージが強いインドですが、地域によって食文化は全く異なります。日本にもインド料理のお店はたくさんあると思いますが、それが全てではありません。インドを訪れる機会があれば、その土地の伝統的な朝食にチャレンジしてみてください。以上

- 1 ペースト状の調味料
- 2 インド版クスクス
- 3 米粉から作った蒸しパン
- 4 ひよこ豆の生地から作った揚げドーナツ
- 5 インド版クレープ
- 6 複数の粉末香辛料を混ぜたもの
- 7 ひよこ豆とココナッツから作ったカレー
- 8 米やひよこ豆から作った蒸しパン

#### 筆者紹介

गरमि राय (Ms. Garima Rai (ガリマ・ライ))

インド特許弁理士 (Indian Patent Agent)、Global IP India所属。1984年ジャールカンド州生まれ。South Gujarat University卒業。専門はコンピュータ工学。2013年Indian Patent Agent試験合格。同年2月より現職。趣味は音楽を聴くこと、詩を書くこと。好きな言葉は「To expertise in whatever I do」。ファーストネーム「गरमि (ガリマ)」の意味は「誇り (pride)」。  
<http://www.gip-india.in/>

#### 編訳者紹介

木本大介 (きもと・だいすけ)

日本弁理士、グローバル・アイピー東京特許業務法人所属。1977年神奈川県生まれ。2003年上智大学大学院理工学研究科電気電子工学修了。専門は通信、エレクトロニクス及びコンピュータソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業 (知財部) 3年、特許事務所7年の経験を経て、2013年7月より現職。趣味はゴルフ。好きな言葉は「人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力」。  
<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>